

20 代から 30 代の女性を中心とする「としま F1 会議」本日スタート

～当事者の意見を掘り起し、女性が暮らしやすいまちづくりのさらなる推進を図ります～

本日午後 2 時より、豊島区役所議員協議会室（東池袋 1-18-1）にて「平成 26 年度 第 1 回としま F1 会議」が開催された。

これは、「日本創成会議」により、本区が 23 区で唯一消滅可能性自治体に位置づけられたという報道発表を受け、対応策の 1 つとして立ち上げられたもの。F1 世代の女性の意見やニーズを掘り起すとともに、女性の区政参加を促進していく。

会議の委員は、7 月 19 日に開催されたキックオフイベント「としま 100 人女子会」の参加者を中心に、学識経験者、区主催のワーク・ライフ・バランスフォーラム交流会参加者、豊島区ワーク・ライフ・バランス推進認定企業の勤務者、区内大学在学学生等で構成。「100 人女子会」の参加者からは、当初 5 名程度の委員を募集したが、19 名もの方から申込みがあり、その全員に参加していただくこととなった。また、現在家庭を持ちながら働く区職員 2 名も参加した。会議ではチームを編成し、チームごとにテーマを決めて調査・研究等に取り組んでいく。

第 1 回目の本日はまず、全員との名刺交換と「100 人女子会」の報告が行なわれた。次に区の子育て支援や広報、ワーク・ライフ・バランス等の現状や政策について担当から説明されると、委員たちはうなずいたりメモを取りながら真剣に聞いていた。各々が取り組みたいテーマを自由に書き出し、同じテーマごとに 5、6 名のチームを編成。子育てとまちづくりが 2 チームずつ、広報とワーク・ライフ・バランスが 1 チームずつの計 6 チームとなった。その後はチームごとに、検討したい具体的なテーマ、区への質問事項などが話し合われ、子育てについて取り組むチームからは「子どもが安心して過ごせる場所について考えたい」「他区の保育状況について調べてみたい」などの意見が出た。

区内で子育て中の本間瑞穂さん（34）は「働き続けながら子育てがしやすいまちになるよう、自分から何かできればと思い参加しました。子どもの未来のためにも積極的に提案していきたいです」と語った。

今後「としま F1 会議」は月 1 回程度、計 6 回開催し、各チームで調査・研究した内容をもとに具体的なプランを作成し、12 月に区長へ提案する予定。

（補足）F1 とは広告・放送業界のマーケティング用語で 20 歳から 34 歳までの女性のこと。

名刺交換の様子



チームで検討テーマについて話し合う



話し合いの様子

